

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第2回 所沢市地域公共交通会議
開 催 日 時	令和元年10月21日(月) 午前10時から正午まで
開 催 場 所	市庁舎 3階 第5委員会室
出席者の氏名	佐久間 修 井出 裕美 金子 明実 菅野 景子 鈴木 由紀子 一木 昭憲 山内 智矢 加藤 和伸 藤田 貢 小河 憲司 尾崎 晴男 青木 宏之 矢野 聡 川上 一人 新井 浩 二上 清次 根岸 甚高
欠席者の氏名	鶴岡 洋 秋田 博庸
条例第7条に基づく出席者の氏名	吉田 直樹
議 題	1 開会 2 議事 (1) ところバスの路線及び運賃改定について (2) 三ヶ島地区におけるところバスの見直し及び新たな交通手段の導入について (3) その他

<p>会 議 資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・名簿 ・資料 1 所沢市内循環バス「ところバス」南路線吾妻循環コース 経路図（案） ・資料 2 所沢市内循環バス「ところバス」南路線吾妻循環コース時刻表（案） ・資料 3 所沢市内循環バス「ところバス」新運賃表（案） ・資料 4（三ヶ島地区）見直し路線図 ・資料 5 小型車両のイメージ（参考：入間市「ていーワゴン」） ・資料 6 令和元年度乗降量調査結果 ・資料 7 市内循環バス運行状況比較 ・資料 8 地域公共交通に関するアンケート報告
<p>担 当 部 課 名</p>	<p>経営企画部：平田部長、内野参事 企画総務課：山屋室長、村田主査、杉本主任、武市主任 市民部交通安全課：田中課長、盛清主査、糟谷主任 【事務局】：経営企画部 企画総務課 電話 04-2998-9046</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
企画総務課	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議成立の報告 ・条例第 7 条に基づく出席者の報告 ・配布資料の確認 ・会長あいさつ ・会議の公開の確認 ・傍聴希望者の確認 傍聴者 3 名 <p>2 議事</p> <p>以下、尾崎会長が議長となり進行</p> <p>(1) ところバスの路線及び運賃改定について</p>
交通安全課	<p>資料 1、2、3 をもとに、ところバスの東村山市域への乗り入れ停止及び消費増税に伴う路線及び運賃改定について説明</p>
議長	<p>意見、質問はあるか。</p>
委員	<p>全会一致で異議なし</p>
議長	<p>バスの路線や運賃の改定の際に、国土交通省への認可手続きに必要な書類を作成することになるが、事務局で文案はあるか。</p>
事務局	<p>「道路運送法第 9 条第 4 項及び同法施行規則第 9 条第 2 項に掲げる協議が調っていることの証明書（案）」を配布</p>
議長	<p>事務局より文案が示されたが、最終的な文言については、私と事務局で調整したいと考えるがよろしいか。</p>
委員	<p>全会一致で異議なし</p> <p>(2) 「三ヶ島地区におけるところバスの見直し及び新たな交通手段の導入」について</p>

事務局	資料 4、5、6、7 をもとに三ヶ島地区におけるところバスの見直し及び新たな交通手段の導入について説明
議長	何か意見、質問等はあるか。
委員	今よりも便数が増えるということで良いか。
事務局	ところバスは当面は現行のままであるが、小型車両を新たに導入するため便数は増えることになる。なお、ところバスは小型車両の状況を見ながら路線を短くする方向で検討している。
委員	小型車両になると乗客人数が少なくなるため、積み残しが発生する可能性があるが、どう考えているか。
事務局	現在のところバスの利用状況を見ると、積み残しが頻発することは想定していない。また、小型車両の便数が増えるため、利用者が分散されと考えている。ただし、利便性の向上により頻繁に積み残しが発生するようであれば、車両の台数を増やすなどの検討を行う。
委員	<p>現行のところバスは所要時間が長く、路線の見直しが必要である。路線の見直しにあたっては、アンケートをするなどして利用目的に合わせたルート選定をしてほしい。</p> <p>また、バス車内に地元企業の宣伝をするなどの赤字軽減対策も必要である。</p>
委員	航空公園ではなく最寄りの駅へ接続することで、駅までの利便性が向上し利用が増えると思う。
委員	狭山ヶ丘駅から西武バスの路線バスは運行していないのか。
委員	狭山ヶ丘駅から出ている路線バスは運行本数が少なく、生活交通として機能していない。
委員	現行のところバスの運行経費は人権費が多くを占めていると思うが、小型車両に変わって収支はどうか。

事務局	<p>導入にあたっては、収支率の目標値などの何らかの基準を設ける予定である。</p> <p>また、市長公約として地域公共交通の充実を掲げている。最大の効果を最小の経費で実現させることが前提であるが、市の政策として必要な経費をかけていく方針である。</p>
委員	<p>ところバスを利用するとデパートやスーパーの割引を受けられるなど、何らかのメリットがあれば利用者も増え、地域の活性化にもつながるのではないか。</p>
委員	<p>タクシードライバーの確保が難しい状況の中で、小型バスの運行をタクシー事業者が担うことができるのか。</p>
事務局	<p>タクシードライバーが不足している状況は承知している。仕様を工夫するなどして受け手を探していくとともに、ドライバー確保に向けた取り組みも行っていく。</p>
	<p>(3) その他について</p>
議長	<p>議事(3) その他について何かあるか。</p>
事務局	<p>平成 30 年度に実施した地域公共交通に係るアンケート調査のクロス集計結果について報告</p> <p>令和元年 12 月 8 日(日)に実施する「第 2 回のりものフェスティバス」について報告</p> <p>令和元年 10 月末を以って委員の任期満了にあたり経営企画部長よりあいさつ</p>
議長	<p>議長よりあいさつ</p> <p>以上で議事を終了する。</p>
事務局	<p>令和元年度第 2 回所沢市地域公共交通会議を終了する。</p> <p>閉会</p>